

国際会計シンポジウム in 東京 :
韓国における国際会計基準 (IFRS) の導入
INTERNATIONAL ACCOUNTING SYMPOSIUM:
Adoption of International Financial Reporting
Standards (IFRS) in Korea



2007 年 10 月 10 日 (水) 午後 1 時 30 分 – 午後 4 時 30 分
(午後 1 時開場)

Wednesday, October 10, 2007 1 : 30 p.m. – 4 : 30 p.m.
(1 : 00 p.m. open)

関西学院大学東京丸の内キャンパス (サピアタワー10階)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー10階
(JR 東京駅八重洲北口から徒歩 1 分)

<http://www.jebl.co.jp/outline/sapiatower/index.html>

主催

関西学院大学

Host

Kwansei Gakuin University



近年、会計基準の国際的コンバージェンス（収斂）がますます加速化しています。ヨーロッパ市場では、2005年からEU域内企業に対する国際会計基準（IFRS：国際財務報告基準）の強制適用が始められています。また、すでに100カ国以上の国と地域でIFRSを受け入れています。韓国、カナダおよびインドは2011年からIFRSの導入を表明し、現在それに向けた各種検討作業を進めています。

このような状況のもとで、企業会計基準委員会（ASBJ）と国際会計基準審議会（IASB）は、去る2007年8月8日に「会計基準のコンバージェンスの加速化に向けた取組みへの合意」を公表しました。この「東京合意」は、最近の会計基準の国際的コンバージェンスの加速化を踏まえたものであり、今後のASBJとIASBによる展開に国内外での関心が高まっています。

そこで、アメリカとヨーロッパの規制当局が会計基準の相互承認を目指す局面のなかで、すでにIFRSの導入を表明した韓国で、現在主体的かつ積極的に各種取組みを進めている会計基準の設定者である韓国会計基準院／韓国会計基準委員会（KAI／KASB）と、この問題を学界と公認会計士協会の両面から検討を加える研究者の第一人者をお迎えして、韓国におけるIFRSの受入れについての動向やその問題点などについてご紹介いただくことといたしました。また、IASBの山田辰己理事をもお招きし、国際的な情報交換によって会計基準の国際的コンバージェンスの加速化を巡る議論等を行なうため、この度、関西学院大学東京丸の内キャンパスの開設をも記念して、国際会計シンポジウムを開催することといたしました。

このシンポジウムを通じて、韓国における国際会計改革の理解を深め、また日本の会計基準の国際的コンバージェンスの加速化やそのあり方について考える場となることを期待しております。

プログラム

1：30 p.m. - 4：30 p.m.

【言語】英語

シンポジウム 「韓国における国際会計基準（IFRS）の導入」

モデレーター 平松 一夫 関西学院大学学長・国際会計研究学会会長代理

スピーカー 徐 正雨（ソ・ジョンウ）

韓国会計基準院／韓国会計基準委員会（KAI／KASB）副委員長

“Korea’s Experience of IFRS Adoption”

（「韓国の国際会計基準の採択事例」）

朱 仁基（ジュ・インギ）

延世大学校大学院教授・韓国公認会計士会副会長

“The Issues in Adopting IFRS in Korea”

（「韓国の国際会計基準採択にあたっての諸問題」）

コメンテーター 山田 辰己 国際会計基準審議会（IASB）理事

参加費

無料

定員

50名

申込方法

国際会計シンポジウムへの参加を希望される方は、次の項目を記載のうえ、下記のメールアドレス宛にお申込みください。

【申込時の記載項目】

氏名（ふりがな）

所属

役職

連絡先

電話番号

メールアドレス

【申込メールアドレス】

tokuei@kwansei.ac.jp

申込の締切について

先着順に受付を開始し、定員になり次第受付終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

問合先

関西学院大学学長室

TEL : 0798-54-6100

アクセスマップ

